

編集委員が選んだ本

『近代国家を構想した思想家たち』

『近代社会と格闘した思想家たち』

鹿野政直著／岩波ジュニア新書、
2005年6月・9月、各777円

歴史に登場する人物のエピソードやその思想形成過程を知ることは、歴史理解を深めるものである。この二書は、明治維新以後、富国強兵・殖産興業路線を歩んだ日本社会の中で、思想的に影響を与えた人々の思考や、生命の尊厳をかかげて闘った思想家の思考を描くなかで、日本の近代化とは何だったのかを深く考えさせられる。

『超監視社会と自由』

田島泰彦・斎藤貴男編／花伝社、2006年4月、840円

テロの恐怖や治安悪化感が監視社会化を肯定する風潮に拍車をかけている。住基ネット、「防犯」カメラを張り巡らせる「Nシステム」、継続審議にはなったが市民的自由を大幅に制限しかねない共謀罪制定の動き、などである。だが、監視社会へ走るこの国は「人間的な社会」なのか？ また、このシステムで安心や安全は手に入るのか？——本書はその根元的な疑問を探りながら、市民的自由をいかに守るべきかを一人一人に問いかけている。

『これが戦争だ！一切手で読みとく』

内藤陽介著／ちくま新書、2006年3月、819円

アヘン戦争からイラク戦争まで、近現代に起きた主要な戦争にかかわる切手の「絵解き」を行うことで、切手が「正義」の戦争をアピールする政府の有効なプロパガンダの手段として利用されていたということが良くわかる。紹介している切手や郵便物の数も多く、生徒と一緒に「絵解き」を行うなど、授業で積極的に活用してみたい。「安重根」や「独島」切手に対する見解等、著者の歴史認識に違和感を覚えるかも知れないが、戦争の時代を映す鏡としての切手に注目し、詳細な分析を加えている著者の研究方法には学ぶところが多い。

『維持可能な社会に向かって』

——公害は終わっていない』

宮本憲一著／岩波書店、2006年5月、1890円

2005年に表面化したアスベスト災害。怒り、やりきれない気持ちになっても、次々生起する問題があまりに多くて、深刻で…。

筆者は、とにかく現場に足を運ばれる。そして、膨大な事実やデータに基づいて、それをどう構造的にとらえたらいいのか、さらに、本質的な解決の方向性はどうかあるべきか、提示される。アスベスト災害を切り口に、未来に向けて、いまの現実のなかの、どこに光を見出すか——悲憤慷慨するばかりの自分が恥ずかしくなった。

『改憲問題』

愛敬浩二著／ちくま新書、2006年4月、777円

患者が自分の病気の治療方法を決定する際にインフォームド・コンセントは欠かせないが、護憲派の筆者が意図したのは、改憲問題におけるインフォームド・コンセントのための条件づくりである。改憲に賛成するにせよ、反対するにせよ、間違った判断をしないための情報や知識が決定的に重要となる。本書では、改憲問題に関して過去のような議論があり、それがどのように変化して現在に至っているのかが、実にわかりやすく整理されている。そして、そのわかりやすさが類書にはない本書の最大の特色となっている。大学のゼミ形式をとり、教員と学生が議論をしていく中で改憲派の主張の問題点が明らかになっていくという形式をとっている。高校生にも是非！

『高嶋教科書裁判が問うたもの』

高嶋教科書訴訟を支援する会編／高文研、

2006年6月、2100円

高嶋伸欣氏（琉球大学教授）は、アジアの人々との真の共生を考えて教科書執筆をしたが、執拗な「教科書検定の壁」に阻まれ、良心を守るべく執筆を断念し、教科書検定の違法性を裁判で問うた。その判決は、国側勝訴確定（2005年12月1日最高裁第1小法廷）となったが、その間、「検定」が恣意的に行われている事例が明らかになった。そして、4つの争点のうち2つで国側の職権濫用があったことも認められている（1998年4月横浜地裁判決）。本書はその成果と課題を整理した集大成である。

『ニッポン不公正社会』

斎藤貴男・林信吾著／平凡社新書、

2006年3月、777円

「格差社会」と言っただけで、一人一人能力にちがいがあんだから、「差がつく」のは仕方ないよな、と心のどこかで思ってしまう人に、お薦めの本。

『機会不平等』を世に出した斎藤氏と、「日本社会の格差はイギリス化していく」と警鐘を鳴らす林氏が、互いの意見の相違も隠さず、本音をぶつけ合う。一般の書物では活字化し難い、「なぜそう主張するのか」という魂の叫びが垣間見られ、お二人の主張（に対する諾否は別として）を深く把握できて考えさせられる。

斎藤氏が、取材の中で、自分や自分の父親への蔑視を肌身に感じ、「帰りながら、涙が出たね。」「その怒りが『機会不平等』を書かせたんだな。」と語り、林氏が「やっぱりあの本は、斎藤さんでなければ書けなかったんだろうな。」と応じるくだりなど、臨場感抜群。

定価 210円（本体200円） 編修・発行 実教出版株式会社 代表者 島根 正幸

2006年10月1日 印刷 発行所 〒102-8377 東京都千代田区五番町5

2006年10月5日 発行 Tel.03-3238-7777 <http://www.jikkyo.co.jp/>